

埼玉利根医療圏で働く医療関係者様へ

第8回埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会開催にあたり

2012年度、我が国の医療は大きな分岐点に差し掛かろうとしております。当研究会発足以来、主たるテーマである少子高齢化の到来と地域医療システムの問題や、政府の社会保障と税の一体改革を背景に、2012年診療報酬改訂では、急性期病院を含む医療制度改革、医療と介護の連携、そして、多職種協働による『チーム医療』が重要項目として掲げられております。

第4回から3回連続で開催された地域医療をテーマとしたシンポジウムでは、医療者や施設など医療資源の不足、高齢化による慢性疾患の急増、特に、糖尿病性腎症から透析導入が、国保など医療財政の逼迫している実態などが可視化され、地域が抱える問題の全貌が明らかとなりました。また、糖尿病を治療していく上で、地域で活躍する『仲間たち』との他職種連携の大切さを学び、ヒューマンネットワークの構築や地域医療を支える人材の育成を行なって参りました。さらに、4月には地域ぐるみでチーム医療を行なう為の強力なツールである地域医療ITネットワーク「とねっと」の稼働を控えております。

奇しくも、2012年診療報酬改定において、糖尿病性腎症から慢性腎不全、人工透析への重症化予防に対して、医師、看護師、保健師、管理栄養士が協力して治療、療養指導を行なう『透析予防チームの設置』と『糖尿病教室の実施』に対して『糖尿病透析予防指導管理料』が新設されることになっております。

今回の研究会では、地域のあらゆる医療機関において糖尿病教室を開催していただくための技術移転を新井病院 鈴木智美先生にお願い致しました。また、糖尿病教室で楽しく運動療法指導を行なって頂く為のコツを、成田センタークリニック 長阪裕子先生をお招きしてご講演いただく予定です。そして、新しい糖尿病治療薬として注目されているGLP-1アナログの使い方を東鷲宮病院 青木博美先生に解説して頂きたいと考えております。

来年度からの糖尿病診療に具体的にお役に立てるプログラムをご用意することができました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

「地域をひとつの病院に」

平成24年2月吉日

医療法人 新井病院 院長 関谷 栄

医療法人 三和会 東鷲宮病院 院長 青木 博美

社会医療法人 JMA 東埼玉総合病院 院長 高井 孝二

新井医院 副院長 新井 克典

社会医療法人 JMA 東埼玉総合病院 地域糖尿病センター 中野 智紀